

2012年8月9日

VOL. 69

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり国際ビジネスセンター情報誌

中国吉林省進出日系企業レポート 「神楽拉麺屋」金代表へインタビュー【後編】

前回に引き続き、中国長春で頑張る日系企業「神楽拉麺屋」金代表へのインタビュー後編をお届けします。

■日本の味を再現、ということですが、材料は中国で調達されていますよね？再現は可能ですか？

はい、材料はすべて中国で調達しています。味については、「再現」と表現しているように、可能な限り近づけているところでしょうか。材料が違えば、やはり同じレシピで作っても同じ味にはなりません。例えば塩一つ取っても、日本と中国で塩の濃さが違うため、入れる量を変えないといけません。日本から材料を輸入し、同じレシピで作れば同じ味は作れますが、コストがかかり過ぎてしまいます。

最初は味が安定しなくて苦労しました。うちは製麺機を入れて、麺から作っていますので、麺に苦労し、スープに苦労し、具材に苦労し、というところでした。オープンの際は多くの日本人に来ていただきましたが、みなさんスープも麺も日本のものと変わらないと言って頂けました。大連や瀋陽でもこれだけの味は無いと。苦労が報われた瞬間でしたね。

■その他、味や材料にこだわりはありますか？

水ですね。こちらの水は基本的にミネラル分の多い硬水なのですが、硬水は口当たりがよくない。そこでうちでは軟水に変換させる機械を導入し、スープから麺作りまですべて軟水を使っています。日本の水はすべて軟水ですし、味の再現にも軟水を使っているということは大きく影響していると思います。

その他でも、より新鮮なものの美味しいもの使っている自信があります。例えば中国の卵は日本ほど質がよくないためよく加熱して食べなければなりません、日本の半

熟たまごを再現するためにも、鮮度のよい品質の高い卵を選んで使っています。

■中国のラーメン屋は日本料理屋というイメージがあります。例えば長春にあるラーメンさんぱち（本社は札幌市）では丼もの（カツ丼、牛丼など）も扱っていますが、こちらではどうですか？

基本的にはラーメンがメインですね。その他はサイドメニューといった感じでしょうか。ただ、日本よりはサイドメニューの内容が豊富かもしれませんね。中華料理の炒め物などを置いています。日本料理としてはおでんも置いています。ただ、うどんや丼ものまでは置いてません。サイドメニューが少し豊富な日本のラーメン屋といったところでしょうか。

■ラーメンだけで市場があるということなんでしょうか。そうすると、競合店というのはやはり同じような日式ラーメン店となりますか？

ラーメンだけの市場としてはまだまだです。ですので韓国式冷麺の店なんかも競合店の一つになります。冷麺店は大分浸透していますので、まずそのレベルに到達することが一つの目標となります。



神楽拉麺屋 店内の様子

《次頁へ続く》

目次

中国吉林省進出 日系企業レポート	P 1 P 2
香港で食品見本市出展 &商談会開催	P 2
最新の上海 ～現地レポート～53	P 3
アンニョンハセヨ KOREAレポート 3	P 4
現地発！ 台湾月刊レポート 62	P 5
鳥取県経済訪日団の 参加者募集	P 6

世界の祝日 9月

- 中国 9/30～10/7
中秋節、国慶節
- 韓国 9/29～10/1
お盆（陰曆）
- ベトナム 2日 国慶節
- 3日 国慶節の振替休日
- 米国 3日 労働感謝の日

また日式ラーメン店は現在延吉市内に5、6店舗あります。中には美味しくないとラーメンを出す店もあるので止めて欲しいと思いますね。まだ市場が小さいため、日本のラーメンが美味しくないと評価になりかねない。

■今後のお店の展開について教えてください。

現在は延吉市内に1店舗ですが、将来的にはハルビンや長春にも進出したいと考えています。すでにフランチャイズで開店したいという話は何件か来ています。ただ、店舗を増やしても味が変わってしまうはいけません。実際店舗を増やしていくとすると、この延吉の店舗で麺やスープを作り、各店舗に輸送するという方法で味を維持し、店を拡げていくことになるのかなと思っています。そのためにも、まずはこの延吉店を成功させることが第一ですね。

■最後に今後中国に進出しようとする企業にアドバイス等あれば。

延吉について言えば、例えば今年9月に博覧会があるのですが、そこに出席するのもチャンスの一つかと思えます。というのは、中国では人脈がとても大事。この店を開店するにあたって色々な人脈があったから可能だったという面があります。博覧会に出展すれば、まずは延辺州商務局、又は延辺州都の延吉市の商務局と繋がりができる。そうすれば、開店したいと思った際、そこの協力を仰ぐことができます。そういった関係の一つ一つ作っていくことが中国では大事かなと思います。

■本日はお忙しい中ありがとうございました。

この後、実際に神楽ラーメンを食べてみました。感想としては、スープの味は日本の神楽ラーメンと変わらず美味しい。ただ、麺が柔らかいなど。しかし、麺は日本のように「硬め」と注文すれば応じてくれるとのこと。また、中国で餃子と言えば水餃子で焼餃子に出会う機会は稀ですが、ここでは日本と同じ焼餃子を頂きました。



神楽ラーメン

(インタビュー実施日：2012年4月28日)

神楽拉麵屋

住所：吉林省延吉市公園路恒坤國際清華園1-1-732号
電話：+86-433-8335338

【鳥取県文化観光局交流推進課 田村】

香港で食品見本市出展&商談会開催

県内企業6社が参加

公益財団法人鳥取県産業振興機構では、日本産農林水産物の輸出先として5年連続1位を記録している香港において、東アジア最大規模の食品見本市「FOOD EXPO (美食博覧)」出展及び香港で初となる鳥取県単独の食品商談会を開催します。

■FOOD EXPO 2012 (美食博覧) 概要

会 期：2012年8月16日(木)～18日(土) 3日間
時 間：16、17日10時～18時(国内外の食品業者のみ)、18日10時～22時(一般来場者にも開放)
会 場：香港コンベンション&エキシビションセンター
主 催：香港貿易発展局
出展者数：19カ国から888社(2011年実績)
来場者数：395,354人(2011年実績)
鳥取県参加企業：エムケイ開発株式会社、株式会社エムコ(2社)

■商談会概要

名 称：鳥取県食品商談会in香港
日 時：2012年8月20日(月)10時～18時
会 場：ノボテルセンチュリー香港ホテル 地下1階
主 催：公益財団法人鳥取県産業振興機構 とっとり国際ビジネスセンター
内 容：鳥取県商談会参加企業と香港バイヤー20社以上の個別商談を実施
参加企業：有限会社一善や、エムケイ開発株式会社、株式会社エムコ、株式会社オーク、株式会社越河、農事組合法人広岡農場(6社)

次号で開催結果を
お知らせします！

【とっとり国際ビジネスセンター 早川】

最新上海 ～現地レポート～ 53

北京で未曾有の豪雨、脆弱な中国の都市排水システム

■北京61年ぶりの豪雨

北京では7月21日午後から降り始めた豪雨が22日朝まで降り続き、平均降水量163.7ミリ、最大雨量460ミリという1951年観測開始以来の最大雨量を記録した。北京市政府は27日時点での死亡者77名、行方不明者66名のリストを発表し、この暴風雨により被害を受けた市民は160万人以上、経済的損害額は116.4億元に達すると推定された。



北京地下鉄入口の様子

■中国都市部 排水システムの未整備が露呈

沢山の台風が毎年訪れる日本人にとってみれば、なぜ台風でもない暴雨でこれほどの死者がでるほどになったのか不可解に思う方も多いだろう。北京は気候的に雨の少ない地域ではあるが、問題は、未曾有の雨量にあるのではなく、北京市の排水システムにあるのだ。

2008年8月に、上海でも同様の豪雨があり、市内中心部の徐家匯観測所では1時間に117.5ミリの雨量を記録した。130年ぶりの雨量記録更新となったようで、市内150箇所の道路や11000世帯が浸水した上、この大雨と朝の通勤ラッシュの時間帯が重なったことで、交通事故や通行止め、公共交通機関の運行停止などの交通状況の悪化という二次被害も発生し、市内は大混乱となった。もともと上海市内の排水システムは、浦東や空港近辺の比較的最近整備された地域でも1時間当たり雨量50ミリが限界で、昔ながらの民家や古い建物が残る市内中心部となれば、1時間当たり36ミリ程度が限界であった。つまり、2008年8月の暴雨は上海の排水システム能力の2～3倍を超えるものだったのだ。ちなみに、現在の北京の排水システム能力の限界点は1時間当たり36ミリである。

その後、上海の第12次五ヵ年計画の中で、100億元を投入して排水システムを整備する計画を発表した。目標としては、全市365箇所、排水能力4140立方メートル/秒としている。255箇所が整備済みだが残りの市内約30%の地域において排水システムの未整備となっており、現状の排水能力は2850立方メートル/秒で、整備箇所及び排水能力ともに、約30%が未整備となっている。

■上海 排水システムの現状

2010年上海万博を機に、新たに開発された万博跡地や虹橋空港の地域は、市内でも比較的水準の高い排水システムが整備されているが、中心部の大部分は雨水と下水が同じ排水管に流れ込むシステムで、汚水による配水管の劣化や詰まりなども問題視されている。また、特に注意が必要なのは、上海の中心を南北に流れている黄浦江を挟み西側の外灘と呼ばれる区域で、暴雨が発生した場合、黄浦江が沿岸に溢れることが想定される。東側（浦東区・陸家嘴近辺）は90年代開発された新しい年であるが、西側はフランス租界時代の建物を残した古い町並みであり、排水システムも古いままであるところが多い。そのため、第12次五ヵ年計画では、このエリアを重点的に整備していくと発表されている。

知人の中国人によると、幼い頃は大雨が降れば膝下まで水につかることもそれほど珍しくなかったようだ。万博前から始められた上海の排水システムの整備により、現在はそれほどの状況は見られないが、やはり日本と比較すると、路上の水はけの悪さが目立つ。現在、比較的高水準とされている区域でも1時間当たり100ミリ以上の雨量に遭遇すれば、やはり浸水となってしまいう状況だ。折りしも8月2日午後には、上海にも2つが合体した台風が接近しており、これによる暴風雨に見舞われる予定だ。このようなインフラ設備の向上とともに、万一の事体に備えて、避難所の整備や市民への告知活動の重要性も増している。



上海市排水システム整備状況（引用：東方早報）

- 下水と雨水の混合排水システム区域
- 下水と雨水の分離排水システム区域
- 高水準排水システム完備区域
- 第12次五ヵ年計画での新規建設区域
- 第12次五ヵ年計画重点推進区域
- 排水システム拡張工事中区域
- 低水準排水システム区域
- 工事検討中区域

【榎チャイナワーク 孫】

アンニョンハセヨ KOREAレポート 3

三星電子モバイル事業の成長戦略について

ヨーロッパの経済危機の影響により大部分のグローバル企業が低調な実績を記録しているが、三星電子は2012年2Qに史上最大の四半期実績（連結基準売上高47兆6千億ウォン、営業利益6兆7200億ウォン）を発表し、特にGALAXYシリーズで代表されるモバイル通信事業部がこれを率いた。これにより三星電子モバイル事業の成長戦略について調べる。

■Anycall、韓国の地形に強い

1983年三星電子が新事業領域として移動通信機器事業への進出を決定した後、1988年最初に携帯電話を市場にリリースしたが、結果は失敗であった。当時、市場で独走していたMOTOROLAの技術力及び価格競争力に及ばなかったためである。

これにより三星電子はMOTOROLAに追いつくという目標をもって競争力のある製品開発に集中し、特に韓国国土の70%が山という点を活用して山岳地形をカバーできる最適のアンテナの長さを探すなど、受信率の強化に最善を尽くした結果、規模が小さい韓国市場でも占有率5%に止まっていたところ、1994年には30%に上昇し、1995年にはMOTOROLAを越えて市場占有率1位を占めた。

韓国市場に合う製品開発の努力結果、三星電子の携帯電話Anycallは全国のどこでも通話できるという認識を消費者に植え付けた。

■World Best, World First!

韓国はCDMAとGSMという2つの移動通信デジタル技術のうち、CDMA技術を採択し、政府と民間が緊密に協力した結果、世界最初にCDMA方式を商用化した国家になり、三星電子はCDMA端末機を世界最初に製造した企業になった。これを通じてCDMA方式を採択した海外国家の移動通信社と契約を締結し、2000年世界CDMA携帯電話市場の54%を三星電子が占めた。

しかし、当時世界携帯電話市場の70%を占めていたGSM市場を越えずにはグローバル企業として成長できないと判断して、ヨーロッパ研究所を設立してヨーロッパで最も薄いデザインのモデルをリリースし大ヒットした。これを通じてプレミアムイメージを得た三星電子の携帯電話はNOKIA、MOTOROLAの携帯電話より10%高い価格でももっと多く販売され、中国では30%高い価格でも販売されるほど成功して世界市場の4位を占めることができた。

このような“世界最高の製品を最初に作る。”という1等に対する執着は初期スマートフォン市場の対応に失敗した三星電子を再度1等にする原動力になった。

■原価節減

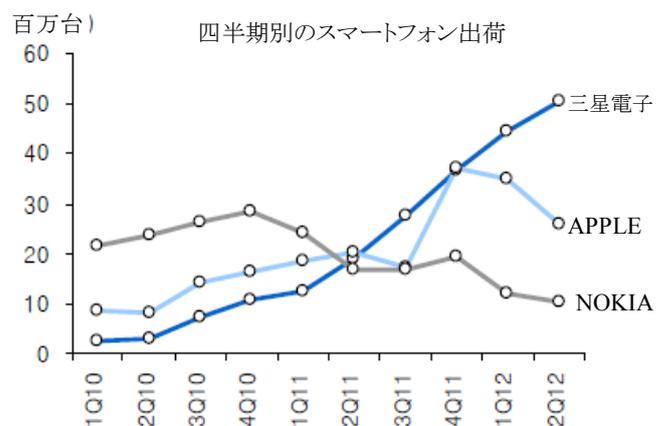
2001年世界携帯電話市場の3位を占めた三星電子はその後、これ以上成長できず、市場占有率10%に留まった。2位のMOTOROLAとの格差は2005年を基点としてもっと広がり、2006年には市場占有率が下落し始めた。

段々減少する先進国での新規・交替需要とこれと相反する新興国市場での暴騰する新規需要に注目した三星電子は新興市場に適合した低価格携帯電話を作ろうとしたが、原価節減には困難があった。

これを乗り越えるために国内にはプレミアム携帯電話生産分のみを残し、残りは中国、インド、ベトナム、ブラジルに移転させ、その結果、低賃金を利用した生産単価の下落及び物流距離と時間の短縮ができた。

また、現地生産と共に推進したプラットフォーム（特定製品の核心となる標準化した層を意味、基本部品及びソフトウェアは標準化し、外観及びデザインなどは機種別に製作して費用を節減）供用化により製品開発期間の短縮及び開発費の節減効果、不良率の縮小の達成ができた。

三星電子がスマートフォン市場に本格的に参入した2010年以後販売したGALAXYシリーズのみ2億台に達した。最高品質の製品を他社の一歩先を行ってリリースした1等戦略と各国の移動通信環境に合う最適な製品を披露する戦略が調和して三星電子の成長趨勢は持続されると考えられる。



2Q12三星電子がアップルを越えて確たるNo.1を占める。
資料：SA、Taurus投資証券リサーチセンター

現地発！台湾月刊レポート 62

台湾に台風の時期が来た…私も被害に

8月3日現在、大型台風九号の影響が深く残っている。今日現在の死者が26人。典型的な豪雨と強風の台風であった。多くの被害者が出た。中でも水に浸かったパトカーから歩いて脱出する警官が、途中で心臓麻痺を起こし倒れ、緊急救命措置を施したにもかかわらずそのまま殉職した映像や、河川脇の道路を散歩する人が、道路陥没により画面から突然消え土砂に埋まった映像など、悲惨な光景がいくつも映し出された。

私も直接被害を受けた。8月1日、定刻18時50分に出発した日本航空、成田発台湾桃園国際空港行きに搭乗した。台風の影響で「台北松山空港か羽田空港に到着する可能性がある」との条件付き飛行であった。定刻に出発したこともあり、乗務員と松山空港のほうが近くて良いね、等と軽口をたたいて、飛行機は滑りだした。状況が変わりだしたのは、台湾上空にさしかかってから。いつもより早めに「ポーン」と着陸を示す合図が鳴った。それからは、ディズニーシーのストームサンダーというアトラクションのように揺れた揺れた。シートベルト着用のサインが出ているにもかかわらず、トイレに行こうとする乗客、押しとどめる乗務員。

一度目の着陸試行。しかし横風にグラッと大きな揺れ。脂汗がジュッと出る。その瞬間エンジンフル回転で上昇。胃に重りが加わる。ゲツと言う声が聞こえる。そしてまた上空にもどり安定飛行へ。機内には、酸っぱい臭いが立ち込めた。機長より説明がある。失敗したが、もう一度チャレンジすると。CAたちが、汚物の袋を回収して回る。そして三十分後、二度目の突入開始。木の葉の船というのは、こういうことを言うんだな。台風の雲の中に舞っている葉っぱをイメージする。突然、桃園空港の街の光が目飛び込んできた。しかしその瞬間、身体にイヤな重力が右から下からかかってきた。こりゃダメだと思った瞬間、またグォーンと力強いエンジン音が聞こえ、身体がシートに押し付けられた。CAさんと目配せ。ダメだという絶望感。そして機長挨拶。残念ながら羽田空港に引き返しますというアナウンス。機内には、失望と絶望だけが残った。そしてまた吐く人たち。優勝候補まちがいなしと言われた選手が、二回戦敗退した時のテレビを見た感じに近いと思う。

羽田空港には、午前2時到着。7時間の台湾島遊覧飛行が終わった瞬間であった。空港に到着すると、残業し



出発時の成田空港
平和そのもの



その時、桃園空港では！

た地上スタッフが待ち受けていた。まず普通に成田出国のパスポートに、羽田空港入国スタンプが押される。国内旅行にもかかわらず。次に荷物をピックアップ。自分の荷物は、既にカートにキレイに載せられていた。さすが上級会員対応である。ちょっと嬉しい。そして税関申告書も書かされる。その際、成田空港で買った免税品は「残念ながら」課税され、支払をさせられるとのアナウンス。ノーチェックだったのでプチ脱税した人は多いと思う(私はしていない)。税関を通ると、国内線乗り継ぎカウンターに行くように指示を受けた。遊覧飛行後特別コースは二通り。「品川プリンスホテル宿泊」あるいは「ご自宅までタクシー送迎」。これを選択すること。昨日行ってきますと出た自宅に、深夜3時に帰ると怪しまれるのではないかとホテル宿泊コースを選択しようとする自分の心を押さえ、タクシーを選択。概算金額をタクシー運転手に電話をして聞いてもらう。「一万円は超えます」との無情な答え。なぜならエコノミー客だとタクシーは、上限一万円の補償と告げられていたからだ。それも領収書付き書類を作成しないと払わないという。実は、かなりムカっとしたが、大人なので自然な顔で乗り込む。運転手は、とても親切。自宅到着は、3時半。そういえば、会社出発が午後3時半であった。12時間におよぶ海外台風体験遊覧飛行であった。ちなみにタクシー代は、壱万と210円。払おうと思ったら運転手さんが、大丈夫、JALに全額請求するからと受け取らなかった。大丈夫なのか？さて、最後に収支計算したらコストは、成田行き電車1300円のみ。ラウンジ+機内での酒飲み放題、食べ放題と考えるととてもパフォーマンスがよい。機内には、話し相手ともなる美人CAさんもいた。が、命をかけてまでいくものではない、と考える。疲労困憊だった。台風の条件付きの旅行は、早めに諦めましょう。ちなみにキャセイ航空は、午前中に欠航決定。なんと羽田発夕方同時刻に出発した台北松山空港行きは、私の降りるべき桃園空港に無事到着していた。悔しい。また台風が来るのがわかっているときは、旅行保険に入りましょう。カード保険は、台風条項がついていない可能性大。以上、参考になれば。

■閑話休題

台湾女性は、脚が長く、スラっとしている。こう思った皆さんは、多いのでは。しかし、台湾衛生局発表による新聞記事は以下のとおり。「アジアのデブは台湾」台湾男は半分がデブ(51.1%)。女は3割強(35.8%)がデブ。だから台湾デブ夫と呼ぼう。運動しないのも世界有数とのこと。運動しない男は、68.5%。女は、なんと79.3%にも達すること。ここでの運動とは、毎週運動3回、30分。日本や韓国を大いに上回っている。これは、意外だった。私の周りを見ると確かに男性は、洋ナシ型デブが多い。ゴルフには熱心だが、脂モノを食べる食べる。暑いから動かない。タクシーに乗る。あれでは太るであろう。しかし、いつも腹デブを台湾人と競っている日本人の私も、成人病疾患に気をつけないと、と記事を見て思った。

鳥取県経済訪尼（インドネシア）団の参加者募集

今年12月に実施します

インドネシアは世界第4位の人口を擁し内需が高く経済的に安定成長してきているなど、「現在アセアンの注目株で旬を迎えている」と言われています。このたびは同国との技術交流や共同生産、部品輸出等取引の可能性を探るため、日系進出企業や同国最大級の総合工作機械の展示会を視察する訪尼団への参加者を募集します。

■日程

- 12/4（火）関空→ジャカルタ
- 12/5（水）インドネシア政府経済担当部署表敬 Manufacturing Indonesia視察
- 12/6（木）ジャカルタ東部の日系工業団地視察
- 12/7（金）〇〇経済視察（経済視察先は調整中）
- 12/8（土）ジャカルタ→関空（解散）



■参加申し込み

- ・とっとり国際ビジネスセンターHPから「参加申込書」をダウンロード、必要事項をご記入の上、同センターまでお申込みください。
- ・申込み期限は8月17日（金）で、定員30名になりしだい締切とさせていただきます。
- ・なお、申込み資格は鳥取県内に本社、支社、工場など関連施設がある企業、団体等であることとします。

■参加費用

- ・往復航空賃、宿泊費、現地食費で合計お一人様16万円程度
（関空～ジャカルタの往復航空賃111,500円、宿泊費16,500円×3泊、食費30,000円ほか、旅行社と調整中。）
- ・なお、現地における全団同一行動時のバス代、ガイド代は主催者側が負担いたします。

■申し込み先

公益財団法人鳥取県産業振興機構 とっとり国際ビジネスセンター
 本 部（境港市） TEL:0859-30-3161 FAX:0859-30-3162 E-mail:kaigai@toriton.or.jp
 東部窓口（鳥取市） TEL:0857-52-6757 FAX:0857-52-6782 E-mail:kaigai@toriton.or.jp

■詳細

とっとり国際ビジネスセンターHP（<http://www.tottori-kaigai.com/>）

【とっとり国際ビジネスセンター 中江】

編集後記

先日、香港の週刊誌「U magazine」（旅行記事を中心に紹介）の関係者が鳥取県内に1週間滞在され、多くの観光地を取材されました。大山榎水高原を取材された際に私も同行させていただいたのですが、当日はとても天気がよく、大山は頂上までくっきりと姿を現し、海の向こうには隠岐の島まで見ることができました。香港から来られた方々も大満足の様子で「鳥取県は初めて来たが、大変良いところだ」とおっしゃっていました。

香港からの訪日観光客はリピーターが多いようで、多くの旅行会社・個人観光客が東京や大阪など主要観光地に次ぐ訪問先を探しているとか。鳥取県の豊かな自然と美味しい食べ物は、まだまだ香港の人に知られていません。雑誌以外にも、ブログやフェイスブックなど、使い方によっては大きな宣伝効果が期待できるツールはたくさんあります。これらを上手に活用したインバウンドに期待しましょう。【na】

本誌「とっとり・グローバルウォッチ」は、皆様から内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでお気軽にお寄せください。

お問い合わせ：公益財団法人鳥取県産業振興機構 とっとり国際ビジネスセンター

《本 部》境港市竹内団地255-3

TEL：0859-30-3161 FAX：0859-30-3162 E-mail：kaigai@toriton.or.jp

《東部窓口》鳥取市若葉台南7-5-1

TEL：0857-52-6757 FAX：0857-52-6782 E-mail：kaigai@toriton.or.jp